

「育児・家事 毎日となると ずいぶん違う」

やまうちしげお
育児休業取得した市役所職員山内殖生さんに聞きました



Q：育児休業を取得しようと思ったきっかけを教えてください

1人目の時には妻が里帰り出産しました。2人目の時には妻と自分の母親に手伝いに来てもらいました。3人目が昨年4月ということで、新型コロナウイルス感染拡大の最中で県外に住む母親に来てもらうわけにもいかず、自分が育児休業を取得し、妻と子育てをすることにしました。

Q：不安はなかったですか

共働きで、妻は土曜日が勤務なので、私がいとも土曜日に子どもの世話をしていました。家事も分担してやっていたので、不安は特にありませんでした。

Q：どれくらいの期間、取得されましたか

半年間取得しました。生まれてすぐから生後6カ月になるまで、上の小学生と幼稚園児の子育て、家事を妻と二

人でやってきました。

Q：仕事について問題はありませんでしたか

市役所の環境下水道部で化学の技術職員として働いています。職場の理解もあり、下水道部内にも同じ職種の職員が複数いて、日頃から協力し合いながら業務をしていたこともあり、スムーズに取得できました。

Q：育児休業して苦労したことはありましたか

それまでも育児も家事も分担してやってきましたつもりでしたが、子どもの世話は主に週末だけだったことが、毎日となるとずいぶん違い、やらなければならぬことが積み残しになり、しんどく思うことがありました。

Q：新たな気付きなどがあれば教えてください

一方で近年では若年層の夫婦ほど、夫は料理、妻は洗濯、掃除と育児は二人で分業し担当する内容を決める、お弁当は必要な人が自分で作る、など柔軟に役割分担されているお話を伺うことも増えてきました。

このようなケースでは、早い段階に夫婦間で生活における話し合いが出来ること、お互いの仕事への理解と勤務状況の把握、互いの得意不得意を活かした家事育児の分担と妥協、それぞれの自由な余暇活動の容認、夫婦二人の大人時間の確保、分担の定期的な見直しなど、日頃から些細な事柄も話し合える良好なコミュニケーションがとれる関係性や段取りなどが重要になります。

また夫婦で話し合う際にけんかになってしまおうという状況もよく見受けられます。自分の望みを相手にきちんと伝える為には何をどのように伝えるかが大切です。まずは相手に対して思っていること(不満などの感情)と自分の望み、その為の相手に望むことなどを分けて考えてみる。このように整理し冷静に相手との対話パターンを知ること話し合いの糸口がみつかることもあります。

気持ちを抑え一人抱えて我慢していると、いつか限界が来てしまいます。女性の悩み相談では、その前に少しでもよい方向へ向かえるよう共に考えていければと思います。



相談員 心理臨床カウンセラー 中井紀子氏

「女性の悩み相談からみえるジェンダー問題」

女性の悩み相談ではさまざまな相談が寄せられますが、ジェンダーの視点から捉えてみると、依然として家庭内での性別役割分担と就業についての問題が挙げられます。

仕事と家事・育児に対する夫婦の関わり方は、その後の家庭生活の質や結婚の満足度にもつながり、同時に離婚に至る要素にもなっています。

実際の相談では、家事・育児の分担と協力、妻の就業希望(キャリア形成)について、夫からの理解・協力が得られない、理解はあるが協力してくれない、そもそも夫婦で相談という話し合いができない、けんかになる、などの声があります。

守口市男女共同参画週間記念のつどい

記念講演

「世界一幸せな国

フィンランドから学ぶ

～自分らしく生きる～



坂根シルック氏

講師 九州ルーテル学院大学
人文学科准教授
坂根シルックさん

3歳で初来日、幼少期を大分市で育つ。小学校卒業後、フィンランドに帰国。1985年に再来日後、20年に渡り、フィンランド政府機関や複数の在日フィンランド企業に勤務。フィンランド語通訳・翻訳家、フィンランド語講師を経て、2012年度から国立大学法人東京農工大学のグローバル大学院プログラムに携わる。2019年春に熊本に移住、九州ルーテル学院大学でグローバル教育を担当。子育て・働き方・生き方・教育・ライフスタイルなど、フィンランドの社会文化をテーマに、全国で講演を行う。1男1女の母。

時 6月25日(土) 14:00~15:30
場 守口市中部エリアコミュニティセンター
定 先着60人
申・問 人権室
TEL 06-6992-1512
主催 守口市 守口市教育委員会
守口市人権協会

女性のための悩み相談

相談員 心理臨床カウンセラー
中井紀子氏

時 第1~第4火曜日 13:00~16:00
要予約(祝日・年末年始は休み)

場 守口市役所 南エリア5階
相談室507

予・問 人権室 TEL 06-6992-1512

Q：「育児休業を取得しよう」と考える男性にひとこと

「家事が苦手」とか、「自分が役にたてるか?」という人もいます。思いますが、育児には人手がいります。買い物など家の外に出なければならぬ仕事を男性が引き受けるだけでもずいぶん違うと思います。育児休業をとってみようと思う人は、そういう点から躊躇することは無いと思います。

生まれたての子どもの育児に関われたことはよかったです。子どもの成長は早く、あっという間だっと思えます。今までは「家事などは全てきちんとやるべき」と思っていました。が、毎日の育児、家事となると十分にできないことも多くあり「それでもいい」と思えるようになりました。妻の大変さも理解できました。